

# 西日本新聞

日本酒王国 佐賀の秘密  
佐賀酒 ものがたり  
書店で好評発売中 ●ビジネス編集部

2020年  
6月29日  
(月曜日)

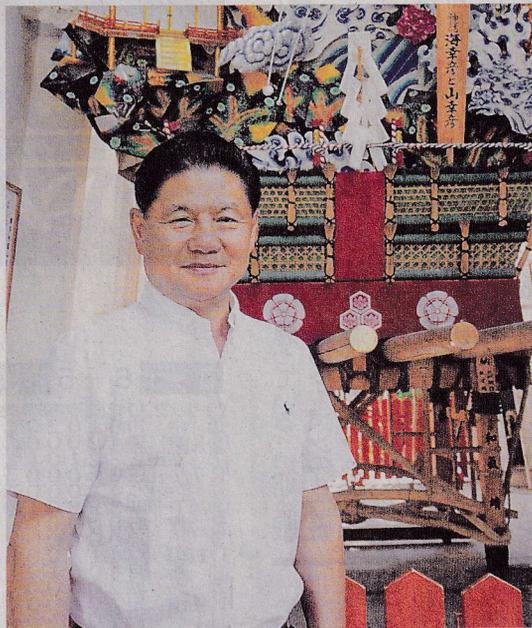
## 「山笠ドクター」学会講演

博多祇園山笠の「追い山」の棧敷席がある榎田神社（福岡市博多区）で、観客や昇き手の救護を担当している「山笠ドクター」の内田泰彦医師（63）＝福岡市早良区＝が、日本整形外科学会学術総会で「博多祇園山笠における事故と対策」と題し、オンラインで講演した。主要な部分をネットでも公開した内田さんは「山笠に出る人、見る人にぜひ視聴してほしい」と話す。

講演は山笠ドクターを紹介し、見回る場面もある。紹介した過去のテレビ番組などで構成。追い山当日、内田さんが棧敷席から昇き手の事故に目を光らせ、熱中症で救護所に運ばれた観客たちの手当てをする姿を映し出している。榎田神社近くで見物客と昇き手が接触し、そのような危険箇所を救急隊

「山昇き（山笠参加者）」

### 手当てや見回り 活動紹介 主要部分をネットでも公開



「山笠ドクター」としての活動をネットで公開した内田泰彦医師

には子どもからお年寄りまで、それぞれ役割がある。山昇きの医師である私の役割は、救護所を指揮することもある内田さん。「追い山

とです」と内田さん。白衣の上から、西流・綱場町の当番法被を羽織った姿に山笠ドクターの誇りが漂う。北京五輪や世界水泳で日本代表チームのドクターを務め、福岡ソフトバンクホークスのチームドクターであり、とても光栄。山笠ならば台上がりです」と笑顔で話す。祭りの安全を守る医師の立場から、コロナ禍で延期された山笠行事の来夏開催については「参加する人、見物する人みんなが安心安全でなければなりません。ワクチンや特效薬の開発が急がれます」と強調していた。講演は内田病院のホームページ＝<http://www.sanai-fukuo-ka.or.jp/>＝から視聴できる。

（手嶋秀剛）